

## 東京デンタルショー2009 レポート Tokyo Dental Show 2009

2009年11月7日～8日 有明 東京ビッグサイト



国内有数のメーカーが勢ぞろいするデンタルショー「東京デンタルショー2009」が東京ビッグサイト西1.2ホールにて開催されました。主催は大東京歯科用品商協同組合との事で200社以上の企業ブースが17,760㎡のエリアに所狭しと並び、新しい情報を各企業とともに携えての開催となったようです。企業出展ブース以外にも、企業が主催するセミナーや、お楽しみ抽選会などのイベントもあり、会場は大いに盛り上がっていました。抽選会では1等のJTB豪華旅行商品券、2等の大型ハイビジョンテレビなど、目玉賞品が並ぶなど、このイベント規模の大きさを物語っているかのようでした。また、今回のイベントにて目を引いたのはコンパニオンの存在、大手メーカーのいくつかがコンパニオンを起用し、ショーさながらの華やかさを演出していました。どの業界でも言える事ですが、ブランドイメージ戦略の重要性は推して知るべし、広告にも多大な労力と工夫を必要とする現状を改めて認識させられました。



代表宗村(左)と所長の尾林(右)

### 3次元CAD/CAMの躍進

Aadva SIRONA 3M デンツプライ三金 ゼノテックシステムなど、様々な大手メーカーがここでも3次元CAD/CAMをアピールしていました。確実に3次元CAD/CAMによる補綴物製作の時代に進むであろう流れの中、各メーカーに求められている事は「精度」「スピード」「利便性」などありますが、それらは精密技術の進歩により各メーカーとも差異は見られなくなって行くのではないかと考えられます。その中で、本当に必要とされるシステムとは何かを見極めて行かなければならないと感じました。



1 Aadva New CAD/CAM system Aadva Verita Lab 2 SIRONAのCAD/CAM, inLabシステム 3 3M ESPE Lava Scan 4 デンツプライ三金の3次元スキャナー「セルコンアイ」 5 デンツプライ三金のCAMシステムにより作製されたベアリングとスパナの長さ5センチ程の模型。部品毎に作製し組み立てたのではなく、組み立てた状態で作製された。稼働部分は問題なく動く 6 目立たない矯正から、オシャレな矯正へ。ジルコニアを用いた矯正、セルコンジルブラ(デンツプライ三金) 7 国内認可されたデンツプライ三金のノンクラスプデンチャー用材料、ルシトーンFRS 8 KaVoエレベレストCAD/CAMシステムによるオールセラミッククラウンの計測、築盛、完成までを実演する大阪セラミックトレーニングセンター宮崎校所長の佐々木正二氏 9 ヘレウススクルツァーのミリングマシン 10 東伸洋行の全ての入れ歯を洗える「洗ってクリア」 11 イベント会場の様子。例年より客足は少なめ 12 大信貿易のゼノテックシステムスキャナー

### NEWアンカーアタッチメント

スイスのCendres & Metaux社(CM社)より、ボールや磁性タイプに代わる新しいタイプのアタッチメント、「ダルボプラス」が発表されました。既に使用されている義歯の維持力の回復、インプラント補綴に対する有効性、ハイレベルな維持力の調整がチェアサイドにて可能な事など、多くの利点を打ち出しています。(問い合わせ先:大信貿易)



## 歯科金属の高騰

### メタルボンドとジルコニアオールセラミックの比較

歯科用貴金属が高騰しているのは周知の事実ですが、ジルコニアオールセラミックとの価格差が少なくなっている現状をご存知でしょうか?下記にグラフ化してみました。材料選択の判断材料になればと思います。詳しくは弊社までお問い合わせください。

■ 同一形状の技工物を比較した場合の一例  
※技工料込の比較。※部位により値段は変動します。

金属の種類によってジルコニアを超える

メタルボンド	約20,000円～24,000円
ジルコニアオールセラミック	約23,000円前後

## 高精度ミリングテクニックのために ヘレウススクルツァーの「S3-マスター」を導入致しました

義歯やインプラント技工の中で、大変な精度を要求される嵌合部、切削には50ミクロン(0.05mm)のずれも許されません。これらの作業をミリングと呼び、技工士の技術に依存する所が大きいのが現状です。そこで、弊社では精度の高いミリングテクニックを支える為、高精度の技工物をより安定して提供出来るようにする為、軸ブレが極めて少ない(0.015mm以下)ヘレウススクルツァー社の高精度ミリングマシン「S3-マスター」を導入致しました。



## 第一回CAD/CAMシンポジウム

歯科新時代 CAD/CAMの現状から近未来 Basicな臨床技術からAdvanceまで

2009年10月25日 千代田区 シェーンバツハ・サボー

10月25日に開催されたシンポジウムにて、CAD/CAMの現状から近未来における臨床技術について歯科医師や歯科技工士の発表があり、弊社代表の宗村も情報交換のために視聴致しました。計6人の先生が講演され、それぞれCAD/CAMに対する深い考察と研究の成果を発表されていました。中でも、テーマを「CAD/CAMシステムの臨床的優位性」とした小濱忠一先生の講演では、天然歯およびインプラント審美修復それぞれについて、症例に応じた最適なマテリアルセクションと治療戦略の実際についてを解説されており、大変興味深い内容でした。

全体を通し視聴した所感としては、CAD/CAMシステムの必要性和問題点を改めて認識出来た事、そして浮き彫りになっている今後の課題などにどのように対応すべきかなど、様々な事を考えさせられた大変有意義なシンポジウムでした。

尚現在、日本歯科CAD/CAM学会が設立され、会員募集中です。急速に普及してきた歯科用CAD/CAMの新たな方向性を検討する事、情報交換をする事を目的とされています。設立記念総会・学術講演会が、2010年3月28日(日)、都市センターホテル(東京都千代田区)にて開催予定です。



会場にて配布された演者ご紹介パンフレット